

FRP 製品の成形技術と検査技術の解説

航空機や自動車などでは軽量化による燃費削減のためCFRP（炭素繊維強化プラスチック）などのFRP（繊維強化プラスチック）が使用されており、さらにFRPは腐食しない特徴があるので今後は建築、土木、海洋などの社会インフラ分野における構造部材としての展開が期待されています。こうした各分野へFRP成形品の適用を拡大するためには、目的に適合した形状や特性に低コストで成形加工が行える技術開発が必要です。また、FRP成形品は繊維に樹脂を含浸させて成形加工を行う製造プロセスであるので、成形後の製品内部の空隙有無や状態を検査する技術も必要です。

本セミナーでは、CFRPなど繊維複合材料の様々な成形加工技術の解説や海外の研究開発動向の紹介と、成形製品の非破壊検査技術の解説を行うと共に、金沢工業大学革新複合材料研究開発センター（ICC）が取り組んでいる連続成形による低コスト量産成形技術の研究開発について紹介します。

日時：平成 31 年 **1 月 16 日（水）** 14:30～17:00

会場：金沢市異業種研修会館（金沢市打木町東 1400）

参加費：無料

【セミナー】（14:30～16:30）

① FRP の量産成形技術と海外の研究開発動向

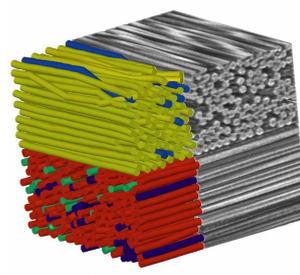
金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター 研究員 布谷 勝彦 氏

FRP は、EU を中心として自動車部品などのマスマイク（量産品）への適用が進んでいます。本セミナーでは、海外での研究開発動向や適用事例を含め、FRP の基本となる成形技術や量産成形技術を解説します。また、革新複合材料研究開発センター ICC における FRP 成形設備や研究開発を紹介します。

② FRP 成形品の非破壊検査技術の解説と検査事例の紹介

金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター 研究員 白井 武広 氏

FRP 成形品の内部は繊維と樹脂で構成されているので、金属や樹脂材料とは異なり均質ではないことから、製品内部構造の検査は容易では無く様々な手法や装置が用いられています。本セミナーでは各種非破壊検査方法の解説と実際の検査事例の紹介を行い、FRP 成形品の検査技術について理解を深めて頂きたいと思います。



【情報交換会】（16:30～17:00）

講師や他の参加者との情報交換を行います。

《講師紹介》

<p>布谷 勝彦 氏</p>	<p>金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター (ICC) 研究員 コンポジット製品試作開発メーカーにて、航空宇宙機や競技用車両、試作車、新交通システム車両などの構造設計、製造技術開発、成形システム開発に携わり、その後、光ファイバーセンサー開発メーカーにて、センサー開発やコンポジット構造体の計測業務を経て、2012年10月より、金沢工業大学 ものづくり研究所 研究員に着任。2014年4月より、ICC 設立に伴い ICC 研究員に着任し現在に至る。 現在の研究テーマは、熱可塑 FRP を安く大量に製造することを目標に、RTM 成形、FRTP 連続成形や成形シミュレーションを主に活動。</p>
<p>白井 武広 氏</p>	<p>金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター(ICC) 研究員 非金属メーカーにて光ファイバ部品や光伝送通信モジュールの開発に携わり、その後光ファイバセンサシステムの開発や構造モニタリングなどの業務に従事。2014年1月に金沢工業大学に着任し、同年4月に ICC 研究員となり現在に至る。 現在の研究テーマは、FRP プレス成形技術の高度化のための成形モニタリング手法の開発、非破壊検査による成形品内部の微細構造解析技術に取り組んでいる。</p>

- 申込方法：F A X又はEメールにてお申し込み下さい。
- 申込締切：平成31年1月11日（金）
- 申 込 先： 金沢市産学連携事業運営委員会事務局
 金沢市異業種研修会館 担当 南
 TEL：076-240-1934 FAX：076-240-1903
 E-mail：minami_m@city.kanazawa.lg.jp
http://www.kanazawa-sangaku.jp/exchange_promotion.html

「先端ものづくり技術交流セミナー(第3回)」参加申込書

企業名		
所在地 〒		
TEL		FAX
E-mail		
参加者	役 職	氏 名

お申込はF A XまたはE-mailにてお願いします。

金沢市異業種研修会館 南 宛
 FAX (076)240-1903 E-mail minami_m@city.kanazawa.lg.jp